

ジェイアールバス東北本部

第39号

2022年3月30日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一

編集：情宣部

申8号「2022年度賃金引上げ等に関する申し入れ」について 会社回答を受けるも...

社員を大切にしない会社姿勢には納得できない!

妥結に至らず!!

会社回答

「ベアゼロ」「定期昇給の実施」

1. 2022年4月1日現在、満55歳未満の社員に対して定期昇給を実施する。
2. 清算については、2022年5月25日(水)以降、準備でき次第とする。

組合

- ・回答について、定期昇給については実施するということだが、これまでの2回の交渉の中で我々が求めてきたのはベースアップであり、ベア・ゼロには到底納得できない。
- ・回答書には、3月16日に発生した地震の影響による新幹線及び在来線の代行輸送や今現在行っている東北～首都圏への増便対応に対しての内容が入ってないが、組合員は公休・特休の移動や買上げありきの勤務変更に対しても協力して対応している。そういった組合員の努力に答えていないベア・ゼロ回答には誠意が感じられない。
- ・今まで、かなりの退職者が出ている中で、その退職する社員を流出させないためには、今回ベアを出して流出を止めるべきではないか。
- ・今回のベア・ゼロ回答を受けて、さらに退職する社員が出ると思っている。
- ・コロナ禍で先が見えないために、これまで申し入れてきた様々な手当が出せないと言うが、いつになったら出せるのか。いつまで我慢すればいいのか。組合員は我慢の限界にきている。だからこそ、今ベアを出すべきであると言っている。
- ・JR本体の回答を参考にしているのか。
- ・会社は本当に現場の組合員・社員のことを見ているのか。会社経営を担っている組合員・社員の頑張りや努力をどう思っているのか。そのことに会社として応えるのであれば、ベア・ゼロという回答ではなく、今回はベアを出して組合員・社員に報いるべきである。
- ・なぜベースアップを出せないのか。ベースアップを出すのは今である。

ベアゼロ回答は、長引くコロナ禍での奮闘や地震の影響による新幹線及び在来線の代行輸送など、組合員・社員の努力に報いる回答ではない!席上妥結せず、回答を持ち帰り組織内で議論します。